株式会社フランクリン・ジャパン

Franklin Japan 気象 WebAPI 仕様書

Version 2.8

目次

1　気象 WebAPI 基本仕様 2
2　各データ仕様概要 3
2.1　雷 API 3
2.2　FJC 雷発生解析 API 7
2.3　FJC 雷移動解析 API 12
2.4　FJC 発雷確率 API 17
2.5　推計気象 API 21
2.6　解析雨量 API 25
2.7　気象レーダーAPI 29
2.8　1km メッシュ天気予報 API 33
2.9　気象庁週間天気 API 39
2.10　降水ナウキャスト API 43
2.11　10 日先天気予報 API 47
2.12　日射量 API 55
2.13　上空の風 API 59
2.14　指数 API 64
2.14.1　洗濯指数 64
2.14.2　不快指数 68
2.14.3　紫外線指数 72
3　エラー時の対応 76

1　気象 WebAPI 基本仕様

(1) 仕様

WebAPI でフランクリン・ジャパンの雷および気象データを提供する。

(2) データリクエスト

■ 通信プロトコル

HTTPS

■ HTTP リクエストメソッド

GET

■ レスポンスデータフォーマット

JSON、JSONP

■ リクエスト URL

JSON リクエスト

https://weather-api.jldn.jp/weather/api/{データ種別}/

JSONP リクエスト

https://weather-api.jldn.jp/weather/api/{データ種別}/?accept=jsonp&auth=認証キー

■ 認証

JSON で取得する場合は、HTTP リクエストヘッダーに auth 項目を追加して、認証キー付ける。

また、JSONP で取得する場合は、リクエストパラメータに auth 項目を追加して、認証キーを付ける。

■ リクエストヘッダー(JSON リクエストのみ)

ヘッダー名	内容	記述	省略
auth	認証キー	認証キー	不可
accept	レスポンスデータのフォーマット指定	application/json	可

2　各データ仕様概要

2.1　雷 API

(1) 仕様

フランクリン・ジャパン独自の雷観測ネットワーク（JLDN）で標定した雷データを、四方または半径 km で提供する。

提供するデータは、発生日時、緯度、経度、電流値、雲放電フラグの最大 5 種類で構成される。

データは、秒切り捨ての最短 1 分前のデータから最大 5 分前までを取得できる。

(2) データリクエスト

■ 通信プロトコル

HTTPS

■ HTTP リクエストメソッド

GET

■ レスポンスデータフォーマット

JSON、JSONP

■ リクエスト URL

JSON リクエスト

https://weather-api.jldn.jp/weather/api/lightning/

JSONP リクエスト

https://weather-api.jldn.jp/weather/api/lightning/?accept=jsonp&auth=認証キー

■　リクエストパラメータ

パラメータ	内容	記述	省略
lat	中心緯度(世界測地系)	lat=35.24	固定ユーザの場合は可能
lon	中心経度(世界測地系)	lon=139.24	固定ユーザの場合は可能
circle	領域判定を km 半径にするか	circle= 0 or 1(0 の場合：四方 km 判定、 1 の場合：半径 km 判定)	可(省略した場合は、四方 km 判定になる。)
range	領域(km 四方または、km 半径)	range=100	可(省略時は最大範囲が指定される)
time	期間(minutes)	time=5	可(省略時は最大範囲が指定される)
accept	JSONP で取得する場合のレスポンスデータのフォーマット指定	accept=jsonp	JSONP で取得したい場合は、省略不可
auth	JSONP で取得する場合の認証キー	auth=認証キー	JSONP で取得したい場合は、省略不可
callback	JSONP コールバック関数名	callback=callback	可(省略した場合は、関数名が callback になる)

■　レスポンスデータ

ルートオブジェクト

フィールド	内容	データタイプ
date	落雷検索開始日時(yyyy/MM/dd HH:mm:ss)	string
lat	指定された緯度(世界測地系)	double
lon	指定された経度(世界測地系)	double
range	取得領域（km 四方)	int
time	取得期間(minutes)	double
circle	km 半径判定フラグ	bool
lightning	落雷データの配列	array

lightning 配列

フィールド	内容	データタイプ
date	落雷日時(yyyy/MM/dd HH:mm:ss)	string
lat	緯度(世界測地系)	double
lon	経度(世界測地系)	double
current	電流値(kA)	int
cloud	雲放電 雲放電の場合は 1 そうでない場合は 0 が入る	int

※　落雷データがない場合は、ルートオブジェクトの lightning は空配列になる。

また、契約していないフィールドのデータは 0 が入る。

■　レスポンスデータ


```
{
    "date": "2020/09/16 09:06:00",
    "time": 5,
    "range": 100.0,
    "lat": 30.620129,
    "lon": 132.974138,
    "circle": false,
    "lightning": [{
            "date": "2020/09/16 09:06:31",
            "lat": 30.111,
            "lon": 133.617,
            "current": 13.0,
            "cloud": 1
        },
        {
            "date": "2020/09/16 09:06:31",
            "lat": 30.108,
            "lon": 133.630,
            "current": 15.0,
            "cloud": 0
        }....]}
```

2.2 FJC 雷発生解析 API

(1) 仕様

フランクリン・ジャパン独自の雷発生解析を JSON 形式で提供する。

提供するデータは、今後の発雷の可能性を解析し、4 段階（なし・低い・やや高い・高い）で判定したものである。

データの更新間隔は 5 分である。

(2) データリクエスト

■ 通信プロトコル

HTTPS

■ HTTP リクエストメソッド

GET

■ レスポンスデータフォーマット

JSON、JSONP

■ リクエスト URL

JSON リクエスト

https://weather-api.jldn.jp/weather/api/lf/

JSONP リクエスト

https://weather-api.jldn.jp/weather/api/lf/?accept=jsonp&auth=認証キー

■　リクエストパラメータ

パラメータ	内容	記述	省略
lat	中心緯度(世界測地系)	lat=35.24	固定ユーザの場合は可能
lon	中心経度(世界測地系)	lon=139.24	固定ユーザの場合は可能
accept	JSONP で取得する場合のレスポンスデータのフォーマット指定	accept=jsonp	JSONP で取得したい場合は、省略不可
auth	JSONP で取得する場合の認証キー	auth=認証キー	JSONP で取得したい場合は、省略不可
callback	JSONP コールバック関数名	callback=callback	可(省略した場合は、関数名が callback になる)

■ レスポンスデータ

ルートオブジェクト

フィールド	内容	データタイプ
date	予報発表日時（YYYY/MM/DD hh:mm:ss）	string
lat	指定された緯度(世界測地系)	double
lon	指定された経度(世界測地系)	double
cLat	雷発生解析データの中心緯度	double
cLon	雷発生解析データの中心経度	double
lf	雷発生解析データ	array

lf 配列

フィールド	内容	データタイプ
lf 配列内	雷発生解析コード	int

※ データが欠測の場合は、「999」が入る。

データは、lf 配列の 2 行 2 列目を中心緯度経度(cLat,cLon)とし、1 格子を 1km 四方とした周囲含め 3×3（計 9 格子）の二次元配列となっている。また、1 格子の移動量は、緯度方向に 30 秒、経度方向に 45 秒となる。

なお、1 格子がもつデータの解析範囲は、各格子を中心とした直径 2.5km の円内である。

■ 雷発生解析コード一覧

雷発生解析コード	発雷の可能性
1	無し
2	低い
3	やや高い
4	高い

■　レスポンスデータ


```
{
    "date": "2019/06/28 16:30:00",
    "lat": 35.6825,
    "lon": 139.752778,
    "cLat": 35.6791,
    "cLon": 139.7562,
    "lf": [
        [ 1, 1, 1 ],
        [ 1, 1, 1 ],
        [ 1, 1, 1 ]
    ]
}
```

2.3 FJC 雷移動解析 API

(1) 仕様

フランクリン・ジャパン独自の雷移動解析を JSON 形式で提供する。

提供するデータは、雷雲セルごとに今後 60 分先までの移動方向と到達位置を解析したものである。

データの更新間隔は 5 分である。

(2) データリクエスト

■ 通信プロトコル

HTTPS

■ HTTP リクエストメソッド

GET

■ レスポンスデータフォーマット

JSON、JSONP

■ リクエスト URL

JSON リクエスト

https://weather-api.jldn.jp/weather/api/lv/

JSONP リクエスト

https://weather-api.jldn.jp/weather/api/lv/?accept=jsonp&auth=認証キー

■　リクエストパラメータ

パラメータ	内容	記述	省略
lat	中心緯度(世界測地系)	lat=35.24	固定ユーザの場合は可能
lon	中心経度(世界測地系)	lon=139.24	固定ユーザの場合は可能
circle	領域判定を km 半径にするか	circle= 0 or 1(0 の場合：四方 km 判定、 1 の場合：半径 km 判定)	可(省略した場合は、四方 km 判定になる。)
range	領域(km 四方または、km 半径)	range=100	可(省略時は最大範囲が指定される)
accept	JSONP で取得する場合のレスポンスデータのフォーマット指定	accept=jsonp	JSONP で取得したい場合は、省略不可
auth	JSONP で取得する場合の認証キー	auth=認証キー	JSONP で取得したい場合は、省略不可
callback	JSONP コールバック関数名	callback=callback	可(省略した場合は、関数名が callback になる)

■ レスポンスデータ

ルートオブジェクト

フィールド	内容	データタイプ
date	予報発表日時（YYYY/MM/DD hh:mm:ss）	string
lat	指定された緯度(世界測地系)	double
lon	指定された経度(世界測地系)	double
range	取得領域（km 四方）	int
circle	km 半径判定フラグ	bool
lv	落雷データの配列	array

lv 配列

フィールド	内容	データタイプ
lat	緯度(世界測地系)	double
lon	経度(世界測地系)	double
r	雷雲セルの半径(m)	int
stat	停滞フラグ True の場合、移動ポイントが空配列になり、雷雲セルの「停滞」を意味する。	bool
points	雷雲セルの移動地点 1 つのポイントを 10 分とし、計 60 分後までの移動地点が出る。	array

points 配列

フィールド	内容	データタイプ
lat	緯度(世界測地系)	double
lon	経度(世界測地系)	double

■　レスポンスデータ


```
{
    "lat": 35,
    "lon": 136.3625,
    "date": "2019/06/18 10:40:00",
    "lv": [
        {
            "lat": 24.7049,
            "lon": 124.2028,
            "r": 1000,
            "stat": false,
            "points": [
                {"lat": 24.7509,"lon": 124.2637},
                {"lat": 24.7969,"lon": 124.3247},
                {"lat": 24.8429,"lon": 124.3858},
                {"lat": 24.8888,"lon": 124.4468},
                {"lat": 24.9348,"lon": 124.5079},
                {"lat": 24.9807,"lon": 124.5691}
            ]
        }]
```

2.4 FJC 発雷確率 API

(1) 仕様

フランクリン・ジャパン独自の発雷確率予報を JSON 形式で提供する。

発表時刻から 6 時間先までは 1 時間毎、以降 3 時間毎 69 時間先まで提供する。

(2) データリクエスト

■ 通信プロトコル

HTTPS

■ HTTP リクエストメソッド

GET

■ レスポンスデータフォーマット

JSON、JSONP

■ リクエスト URL

JSON リクエスト

https://weather-api.jldn.jp/weather/api/plgt2/

JSONP リクエスト

https://weather-api.jldn.jp/weather/api/plgt2/?accept=jsonp&auth=認証キー

■　リクエストパラメータ

パラメータ	内容	記述	省略
lat	中心緯度(世界測地系)	lat=35.24	固定ユーザの場合は可能
lon	中心経度(世界測地系)	lon=139.24	固定ユーザの場合は可能
accept	JSONP で取得する場合のレスポンスデータのフォーマット指定	accept=jsonp	JSONP で取得したい場合は、省略不可
auth	JSONP で取得する場合の認証キー	auth=認証キー	JSONP で取得したい場合は、省略不可
callback	JSONP コールバック関数名	callback=callback	可(省略した場合は、関数名が callback になる)

■　レスポンスデータ

ルートオブジェクト

フィールド	内容	データタイプ
date	予報発表日時（YYYY/MM/DD hh:mm:ss）	string
lat	指定された緯度(世界測地系)	double
lon	指定された経度(世界測地系)	double
data	予報発表時刻から 6 時間後までの予測データを 1 時間ごとに格納、 以降、69 時間後までの予測データを 3 時間ごとに格納	array

data 配列

フィールド	内容	データタイプ
date	予測対象日時（YYYY/MM/DD hh:mm:ss）	string
lProb	発雷の確率(%)	int

※　データが欠測の場合は、「999」が入る。

■　レスポンスデータ


```
{
    "date": "2019/07/31 09:00:00",
    "lat": 35.1533,
    "lon": 139.3713,
    "data": [
        {
            "date": "2019/07/31 09:00:00",
            "lProb": 5
        },
        {
            "date": "2019/07/31 10:00:00",
            "lProb": 5
        }
～～中略～～
        {
            "date": "2019/08/03 06:00:00",
            "lProb": 0
        },
 ]
}
```

2.5 推計気象 API

(1) 仕様

気象庁の推計気象分布のデータをユーザー指定の緯度経度を含む 1 格子で配信する。

提供するデータは推計気象分布の気温、天気の 2 要素である。

データの更新間隔は 1 時間である。

(2) データリクエスト

■ 通信プロトコル

HTTPS

■ HTTP リクエストメソッド

GET

■ レスポンスデータフォーマット

JSON、JSONP

■ リクエスト URL

JSON リクエスト

https://weather-api.jldn.jp/weather/api/suikei/

JSONP リクエスト

https://weather-api.jldn.jp/weather/api/suikei/?accept=jsonp&auth=認証キー

■　リクエストパラメータ

パラメータ	内容	記述	省略
lat	中心緯度(世界測地系)	lat=35.24	固定ユーザの場合は可能
lon	中心経度(世界測地系)	lon=139.24	固定ユーザの場合は可能
accept	JSONP で取得する場合のレスポンスデータのフォーマット指定	accept=jsonp	JSONP で取得したい場合は、省略不可
auth	JSONP で取得する場合の認証キー	auth=認証キー	JSONP で取得したい場合は、省略不可
callback	JSONP コールバック関数名	callback=callback	可(省略した場合は、関数名が callback になる)

■ レスポンスデータ

ルートオブジェクト

フィールド	内容	データタイプ
date	観測日時(yyyy/MM/dd HH:mm:ss)	string
lat	指定された緯度(世界測地系)	double
lon	指定された経度(世界測地系)	double
suikei		object

suikei オブジェクト内

フィールド	内容	データタイプ
temp	気温(摂氏　0.5℃間隔)	double
tenki	天気(コード)	string

※　気温データが欠測、または提供エリア外の場合は、「999」が入る。

※　天気データが欠測、または提供エリア外の場合は、「空文字列」が入る。

■ 天気コード一覧

天気コード	天気
1	晴れ
2	くもり
3	雨
4	雨または雪
5	雪

■　レスポンスデータ

```
{
  "date":"2016/09/20 12:30:00",
  “lat”: 35.581,
  “lon”: 139.369,
  "suikei": {
     temp: 15.5,
     tenki: “1”
  }
}
```

2.6 解析雨量 API

(1) 仕様

気象庁の解析雨量データをユーザー指定の緯度経度を含む 1 格子および周囲含めて計 9 格子で提供する。

提供するデータは 1 時間の降水量（mm/h）である。

データの更新間隔は 30 分である。

(2) データリクエスト

■ 通信プロトコル

HTTPS

■ HTTP リクエストメソッド

GET

■ レスポンスデータフォーマット

JSON、JSONP

■ リクエスト URL

JSON リクエスト

https://weather-api.jldn.jp/weather/api/kaiu/

JSONP リクエスト

https://weather-api.jldn.jp/weather/api/kaiu/?accept=jsonp&auth=認証キー

■　リクエストパラメータ

パラメータ	内容	記述	省略
lat	中心緯度(世界測地系)	lat=35.24	固定ユーザの場合は可能
lon	中心経度(世界測地系)	lon=139.24	固定ユーザの場合は可能
accept	JSONP で取得する場合のレスポンスデータのフォーマット指定	accept=jsonp	JSONP で取得したい場合は、省略不可
auth	JSONP で取得する場合の認証キー	auth=認証キー	JSONP で取得したい場合は、省略不可
callback	JSONP コールバック関数名	callback=callback	可(省略した場合は、関数名が callback になる)

■ レスポンスデータ

ルートオブジェクト

フィールド	内容	データタイプ
date	観測日時(yyyy/MM/dd HH:mm:ss)	string
lat	指定された緯度(世界測地系)	double
lon	指定された経度(世界測地系)	double
rain	解析雨量データ	array

rain 配列

フィールド	内容	データタイプ
rain 配列内	降水量(mm/h)	double

※ データが欠測、または解析されていない場合は、「999」が入る。
データは 1 格子を 1km 四方とした周囲含め 3×3（計 9 格子）の二次元配列となっている。また、1 格子の移動量は、緯度方向に 30 秒、経度方向に 45 秒となる。

■　レスポンスデータ


```
{
  "date":"2016/09/20 12:30:00",
  “lat”: 35.581,
  “lon”: 139.369,
  "rain":[
     [10, 10, 10],
     [10, 10, 10],
     [10, 10, 10],
  ]
}
```

2.7 気象レーダーAPI

(1) 仕様

気象庁の気象レーダーデータをユーザー指定の緯度経度を含む 1 格子および周囲含めて計 9 格子で提供する。

提供するデータは 5 分毎の降水強度（mm/h）である。

データの更新間隔は 5 分である。

(2) データリクエスト

■ 通信プロトコル

HTTPS

■ HTTP リクエストメソッド

GET

■ レスポンスデータフォーマット

JSON、JSONP

■ リクエスト URL

JSON リクエスト

https://weather-api.jldn.jp/weather/api/radar5m/

JSONP リクエスト

https://weather-api.jldn.jp/weather/api/radar5m/?accept=jsonp&auth=認証キー

■　リクエストパラメータ

パラメータ	内容	記述	省略
lat	中心緯度(世界測地系)	lat=35.24	固定ユーザの場合は可能
lon	中心経度(世界測地系)	lon=139.24	固定ユーザの場合は可能
accept	JSONP で取得する場合のレスポンスデータのフォーマット指定	accept=jsonp	JSONP で取得したい場合は、省略不可
auth	JSONP で取得する場合の認証キー	auth=認証キー	JSONP で取得したい場合は、省略不可
callback	JSONP コールバック関数名	callback=callback	可(省略した場合は、関数名が callback になる)

■ レスポンスデータ

ルートオブジェクト

フィールド	内容	データタイプ
date	観測日時(yyyy/MM/dd HH:mm:ss)	string
lat	指定された緯度(世界測地系)	double
lon	指定された経度(世界測地系)	double
rain	降水レーダーデータ	array

rain 配列

フィールド	内容	データタイプ
rain 配列内	降水強度(mm/h)	double

※ データが欠測、または観測されていない場合は、「999」が入る。
データは 1 格子を 1km 四方とした周囲含め 3×3（計 9 格子）の二次元配列となっている。また、1 格子の移動量は、緯度方向に 30 秒、経度方向に 45 秒となる。

■　レスポンスデータ


```
{
  "date":"2016/09/20 12:30:00",
  “lat”: 35.581,
  “lon”: 139.369,
  "rain":[
     [10, 10, 10],
     [10, 10, 10],
     [10, 10, 10],
  ]
}
```

2.8 1km メッシュ天気予報 API

(1) 仕様

フランクリン・ジャパン独自の詳細な気象予測情報「1km メッシュ天気予報」について、ユーザー指定の緯度経度地点の予測データを配信する。

提供するデータは 1 時間毎 72 時間先まで、要素は天気・気温・前 1 時間降水量・風向・風速・湿度・降水確率である。

データの更新間隔は 1 時間である。

(2) データリクエスト

■ 通信プロトコル

HTTPS

■ HTTP リクエストメソッド

GET

■ レスポンスデータフォーマット

JSON、JSONP

■ リクエスト URL

JSON リクエスト

https://weather-api.jldn.jp/weather/api/v2/pointwf/

JSONP リクエスト

https://weather-api.jldn.jp/weather/api/v2/pointwf/?accept=jsonp&auth=認証キー

■　リクエストパラメータ

パラメータ	内容	記述	省略
lat	中心緯度(世界測地系)	lat=35.24	固定ユーザの場合は可能
lon	中心経度(世界測地系)	lon=139.24	固定ユーザの場合は可能
accept	JSONP で取得する場合のレスポンスデータのフォーマット指定	accept=jsonp	JSONP で取得したい場合は、省略不可
auth	JSONP で取得する場合の認証キー	auth=認証キー	JSONP で取得したい場合は、省略不可
callback	JSONP コールバック関数名	callback=callback	可(省略した場合は、関数名が callback になる)

■　レスポンスデータ

ルートオブジェクト

フィールド	内容	データタイプ
date	予報発表日時（YYYY/MM/DD hh:mm:ss）	string
lat	指定された緯度(世界測地系)	double
lon	指定された経度(世界測地系)	double
data	予報発表日時から 72 時間分の予測データが格納されている	array

data 配列

フィールド	内容	データタイプ
date	予測対象日時（YYYY/MM/DD hh:mm:ss）	string
wth	天気（天気コード一覧参照）	string
temp	気温(℃)　0.1℃単位	double
rain_1h	前 1 時間降水量(mm/h) 0mm/h 超 1mm/h 未満：0.1mm/h 単位 1mm/h 以上：1mm/h 単位	double
wind_d	風向(16 方位)（風向番号一覧参照）	int
wind_s	風速(m/s)　1m/s 単位	int
hum	相対湿度(%)　1%単位	int
r_prob	降水確率(%)	int

※　データが欠測の場合は、「999」が入る。

■ 天気コード一覧

天気コード	天気
1	晴れ
2	曇り
3	雨
4	みぞれ(雨)
5	みぞれ(雪)
6	雪
11	快晴
12	薄曇り
13	小雨
16	小雪

■ 風向番号一覧

番号	風向（方位）
0	静穏
1	北北東
2	北東
3	東北東
4	東
5	東南東
6	南東
7	南南東
8	南
9	南南西
10	南西
11	西南西
12	西
13	西北西
14	北西
15	北北西
16	北

■　レスポンスデータ


```
{
 "date":"2023/07/01 21:00:00",
 “lat”: 35.581,
 “lon”: 139.369,
 "data":[
          {
              date: “2023/07/01 21:00:00”,
              “rain_1h”: 0,
              “temp”: 2.6,
              “hum”: 34,
              “wth”: “11”,
              “wind_s”: 2,
              “wind_d”: 16
              “r_prob”: 0
          }…
 ]
}
```

2.9 気象庁週間天気 API

(1) 仕様

気象庁発表の週間天気予報を JSON 形式で提供する。

(2) データリクエスト

■ 通信プロトコル

HTTPS

■ HTTP リクエストメソッド

GET

■ レスポンスデータフォーマット

JSON、JSONP

■ リクエスト URL

JSON リクエスト

https://weather-api.jldn.jp/weather/api/weeklyw/

JSONP リクエスト

https://weather-api.jldn.jp/weather/api/weeklyw/?accept=jsonp&auth=認証キー

■　リクエストパラメータ

パラメータ	内容	記述	省略
lat	中心緯度(世界測地系)	lat=35.24	固定ユーザの場合は可能
lon	中心経度(世界測地系)	lon=139.24	固定ユーザの場合は可能
code	予報区コード(一覧は別紙参照)	code=020010	lat(緯度)lon(経度)で指定する場合は省略可能
accept	JSONP で取得する場合のレスポンスデータのフォーマット指定	accept=jsonp	JSONP で取得したい場合は、省略不可
auth	JSONP で取得する場合の認証キー	auth=認証キー	JSONP で取得したい場合は、省略不可
callback	JSONP コールバック関数名	callback=callback	可(省略した場合は、関数名が callback になる)

■　レスポンスデータ

ルートオブジェクト

フィールド	内容	データタイプ
target_date	予測開始日時（YYYY/MM/DD hh:mm:ss）	string
report_date	予報発表日時（YYYY/MM/DD hh:mm:ss）	string
area	予報エリアのコードと名前が格納されている	object
station	官署のコードと名前が格納されている	object
data	予測開始日時から 6 日分の予測データが格納されている	array

data 配列

フィールド	内容	データタイプ
date	予報日時（YYYY/MM/DD hh:mm:ss）	string
rain	降水確率(%)	int
wthc	天気テロップコード	string
wthw	天気	string
temp_max	最高気温(℃)	int
temp_min	最低気温(℃)	int

※　データが欠測の場合は、「999」が入る。

■　レスポンスデータ


```
{
 "target_date":"2019/01/26/ 00:00:00",
 “report_date”: “2019/01/25 11:00:00”
  "area": {
       "code": "020100",
     "name": "津軽・下北"
  },
  "station": {
     "code": "31312",
     "name": "青森"
 },
 "data":[
          {
              “date”: "2019/01/26/ 00:00:00”
              “rain”: 0,
              “wthc”: “204”,
              “wthw”: “くもり一時雪”.
              “temp_max”: 1,
              “temp_min”: -6
          }…
 ]
}
```

2.10 降水ナウキャスト API

(1) 仕様

気象庁発表の降水ナウキャスト（5 分）をユーザー指定の緯度経度を含む 1 格子で提供する。

提供するデータは 5 分毎 60 分先までの降水強度（mm/h）である。

データの更新間隔は 5 分である。

(2) データリクエスト

■ 通信プロトコル

HTTPS

■ HTTP リクエストメソッド

GET

■ レスポンスデータフォーマット

JSON、JSONP

■ リクエスト URL

JSON リクエスト

https://weather-api.jldn.jp/weather/api/kn/

JSONP リクエスト

https://weather-api.jldn.jp/weather/api/kn/?accept=jsonp&auth=認証キー

■　リクエストパラメータ

パラメータ	内容	記述	省略
lat	中心緯度(世界測地系)	lat=35.581	固定ユーザの場合は可能
lon	中心経度(世界測地系)	lon=139.369	固定ユーザの場合は可能
accept	JSONP で取得する場合のレスポンスデータのフォーマット指定	accept=jsonp	JSONP で取得したい場合は、省略不可
auth	JSONP で取得する場合の認証キー	auth=認証キー	JSONP で取得したい場合は、省略不可
callback	JSONP コールバック関数名	callback=callback	可(省略した場合は、関数名が callback になる)

■　レスポンスデータ

ルートオブジェクト

フィールド	内容	データタイプ
date	予報発表日時（YYYY/MM/DD hh:mm:ss）	string
lat	指定された緯度(世界測地系)	double
lon	指定された経度(世界測地系)	double
data	予報発表日時から 1 時間分の予測データが格納されている	array

data 配列

フィールド	内容	データタイプ
date	予測対象日時（YYYY/MM/DD hh:mm:ss）	string
rain_1h	降水強度(mm/h)	double

※　データが欠測の場合は、「999」が入る。

■　レスポンスデータ


```
{
        "date": "2024/10/04 16:25:00",
        "lat": 32.781,
        "lon": 133.152,
        "data": [
                {
                        "date": "2024/10/04 16:25:00",
                        "rain_1h": 1.65
                },
                {
                        "date": "2024/10/04 16:30:00",
                        "rain_1h": 1.05
                },
～～中略～～
                {
                        "date": "2024/10/04 17:25:00",
                        "rain_1h": 1.35
                }
        ]
}
```

2.11　10 日先天気予報 API

(1) 仕様

フランクリン・ジャパン独自の詳細な気象予測情報「10 日先天気予報」について、ユーザー指定の緯度経度地点の予測データを配信する。

提供するデータは、予報発表日時の翌日から 3 時間毎 240 時間先、要素は天気・気温・前 3 時間降水量・風向・風速・湿度・降水確率と 1 日集約にした天気、最高気温、最低気温、降水確率である。

データの更新間隔は 6 時間である。

(2) データリクエスト

■ 通信プロトコル

HTTPS

■ HTTP リクエストメソッド

GET

■ レスポンスデータフォーマット

JSON、JSONP

■ リクエスト URL

JSON リクエスト

https://weather-api.jldn.jp/weather/api/wth10/

JSONP リクエスト

https://weather-api.jldn.jp/weather/api/wth10/?accept=jsonp&auth=認証キー

■　リクエストパラメータ

パラメータ	内容	記述	省略
lat	中心緯度(世界測地系)	lat=35.581	固定ユーザの場合は可能
lon	中心経度(世界測地系)	lon=139.369	固定ユーザの場合は可能
accept	JSONP で取得する場合のレスポンスデータのフォーマット指定	accept=jsonp	JSONP で取得したい場合は、省略不可
auth	JSONP で取得する場合の認証キー	auth=認証キー	JSONP で取得したい場合は、省略不可
callback	JSONP コールバック関数名	callback=callback	可(省略した場合は、関数名が callback になる)

■　レスポンスデータ

ルートオブジェクト

フィールド	内容	データタイプ
date	予報発表日時（YYYY/MM/DD hh:mm:ss）	string
lat	指定された緯度(世界測地系)	double
lon	指定された経度(世界測地系)	double
daily	一日に集約されたデータが格納されている	array
data	予報発表日時の翌日から 240 時間分の予測データが格納されている	array

daily 配列

フィールド	内容	データタイプ
date	予報日時（YYYY/MM/DD hh:mm:ss）	string
r_prob	降水確率(%)	int
wthc	天気テロップコード	string
wthw	天気	string
temp_max	最高気温(℃)	int
temp_min	最低気温(℃)	int

※　データが欠測の場合は、「999」が入る。

data 配列

フィールド	内容	データタイプ
date	予測対象日時（YYYY/MM/DD hh:mm:ss）	string
wth	天気（天気コード一覧参照）	string
temp	気温(℃)　0.1℃単位	double
rain	前 3 時間降水量(mm/3h) 0mm/3h 超 1mm/3h 未満：0.1mm/3h 単位 1mm/3h 以上：1mm/3h 単位	double
r_prob	降水確率(%)	int
wind_d	風向(16 方位)（風向番号一覧参照）	int
wind_s	風速(m/s)　1m/s 単位	int
hum	相対湿度(%)　1%単位	int

※　データが欠測の場合は、「999」が入る。

■ 天気コード一覧

天気コード	天気
1	晴れ
2	曇り
3	雨
4	みぞれ(雨)
5	みぞれ(雪)
6	雪
11	快晴
12	薄曇り
13	小雨
16	小雪

■ 風向番号一覧

番号	風向（方位）
0	静穏
1	北北東
2	北東
3	東北東
4	東
5	東南東
6	南東
7	南南東
8	南
9	南南西
10	南西
11	西南西
12	西
13	西北西
14	北西
15	北北西
16	北

■　レスポンスデータ


```
{
    "date": "2021/11/30 14:00:00",
     "lat": 35.581,
     "lon": 139.369,
     "daily": [
          {
               "date": "2021/12/01 00:00:00",
               "r_prob": 100,
               "temp_max": 19.0,
               "temp_min": 8.8,
               "wthc": "311",
               "wthw": "雨のち晴れ"
          }…
 ]
```

```
 "data": [
            {
                "date": "2021/12/01 00:00:00",
                "rain": 14,
                "temp": 13.7,
                "hum": 92,
                "wth": "3",
                "r_prob": 100,
                "wind_s": 3,
                "wind_d": 8
            }...
 ]
}
```

2.12 日射量 API

(1) 仕様

フランクリン・ジャパン独自の「日射量予測」（短波放射フラックス）について、ユーザー指定の緯度経度地点の予測データを配信する。

提供するデータは 1 時間毎の日射量（W/m²）である。

データの更新間隔は 3 時間である。

(2) データリクエスト

■ 通信プロトコル

HTTPS

■ HTTP リクエストメソッド

GET

■ レスポンスデータフォーマット

JSON、JSONP

■ リクエスト URL

JSON リクエスト

https://weather-api.jldn.jp/weather/api/sun/

JSONP リクエスト

https://weather-api.jldn.jp/weather/api/sun/?accept=jsonp&auth=認証キー

■　リクエストパラメータ

パラメータ	内容	記述	省略
lat	中心緯度(世界測地系)	lat=35.24	固定ユーザの場合は可能
lon	中心経度(世界測地系)	lon=139.24	固定ユーザの場合は可能
accept	JSONP で取得する場合のレスポンスデータのフォーマット指定	accept=jsonp	JSONP で取得したい場合は、省略不可
auth	JSONP で取得する場合の認証キー	auth=認証キー	JSONP で取得したい場合は、省略不可
callback	JSONP コールバック関数名	callback=callback	可(省略した場合は、関数名が callback になる)

■ レスポンスデータ

ルートオブジェクト

フィールド	内容	データタイプ
date	予報発表日時（YYYY/MM/DD hh:mm:ss）	string
lat	指定された緯度(世界測地系)	double
lon	指定された経度(世界測地系)	double
data	予報発表日時から 72 時間分の予測データが格納されている	array

data 配列

フィールド	内容	データタイプ
date	予測対象日時（YYYY/MM/DD hh:mm:ss）	string
rad	日射量（W/m^2）	int

※　データが欠測の場合は、「9999」が入る。

■　レスポンスデータ


```
{
    "date": "2025/07/07 10:00:00",
    "lat": 35.581,
    "lon": 139.369,
    "data": [
        {
            "date": "2025/07/07 10:00:00",
            "rad": 230
        },
        {
            "date": "2025/07/07 11:00:00",
            "rad": 235
        }
    ]
}
```

2.13 上空の風 API

(1) 仕様

フランクリン・ジャパン独自の上空 300m まで 10m 毎の「上空の風」について、ユーザー指定の緯度経度地点の予測データを配信する。

提供するデータは 3 時間毎 72 時間先、要素は風向・風速である。

データの更新間隔は 3 時間である。

(2) データリクエスト

■ 通信プロトコル

HTTPS

■ HTTP リクエストメソッド

GET

■ レスポンスデータフォーマット

JSON、JSONP

■ リクエスト URL

JSON リクエスト

https://weather-api.jldn.jp/weather/api/windsky/

JSONP リクエスト

https://weather-api.jldn.jp/weather/api/windsky/?accept=jsonp&auth=認証キー

■　リクエストパラメータ

パラメータ	内容	記述	省略
lat	中心緯度(世界測地系)	lat=35.581	固定ユーザの場合は可能
lon	中心経度(世界測地系)	lon=139.369	固定ユーザの場合は可能
accept	JSONP で取得する場合のレスポンスデータのフォーマット指定	accept=jsonp	JSONP で取得したい場合は、省略不可
auth	JSONP で取得する場合の認証キー	auth=認証キー	JSONP で取得したい場合は、省略不可
callback	JSONP コールバック関数名	callback=callback	可(省略した場合は、関数名が callback になる)

■　レスポンスデータ

ルートオブジェクト

フィールド	内容	データタイプ
date	予報発表日時（YYYY/MM/DD hh:mm:ss）	string
lat	指定された緯度(世界測地系)	double
lon	指定された経度(世界測地系)	double
data	予報発表日時から 72 時間分の予測データが格納されている	array

data 配列

フィールド	内容	データタイプ
date	予測対象日時（YYYY/MM/DD hh:mm:ss）	string
data	予測対象日時の予測データが格納されている	array

data 配列

フィールド	内容	データタイプ
wind_d	風向(16 方位)（風向番号一覧参照）	int
wind_s	風速(m/s)　0.1m/s 単位	double
alt	地表面からの予測対象高度(m)	int

※　データが欠測の場合は、「999」が入る。

■ 風向番号一覧

番号	風向（方位）
0	静穏
1	北北東
2	北東
3	東北東
4	東
5	東南東
6	南東
7	南南東
8	南
9	南南西
10	南西
11	西南西
12	西
13	西北西
14	北西
15	北北西
16	北

■　レスポンスデータ


```
{
    "date": "2022/01/05 12:00:00",
    "lat": 35.581,
    "lon": 139.369,
    "data": [
        {
            "date": "2022/01/05 12:00:00",
            "data": [
                {
                    "wind_d": 16,
                    "wind_s": 3.4,
                    "alt": 10
                },…
            ]
        }
    ]
}
```

2.14指数 API

2.14.1 洗濯指数

(1) 仕様

フランクリン・ジャパンオリジナルの洗濯指数情報を JSON 形式で提供する。

(2) データリクエスト

■ 通信プロトコル

HTTPS

■ HTTP リクエストメソッド

GET

■ レスポンスデータフォーマット

JSON、JSONP

■ リクエスト URL

JSON リクエスト

https://weather-api.jldn.jp/weather/api/shisu/sentaku/

JSONP リクエスト

https://weather-api.jldn.jp/weather/api/shisu/sentaku/?accept=jsonp&auth=認証キー

■　リクエストパラメータ

パラメータ	内容	記述	省略
lat	中心緯度(世界測地系)	lat=35.24	予報区コードを指定した場合、省略可
lon	中心経度(世界測地系)	lon=139.24	予報区コードを指定した場合、省略可
accept	JSONP で取得する場合のレスポンスデータのフォーマット指定	accept=jsonp	JSONP で取得したい場合は、省略不可
auth	JSONP で取得する場合の認証キー	auth=認証キー	JSONP で取得したい場合は、省略不可
callback	JSONP コールバック関数名	callback=callback	可(省略した場合は、関数名が callback になる)

■ レスポンスデータ

ルートオブジェクト

フィールド	内容	データタイプ
date	予報発表日時（YYYY/MM/DD hh:mm:ss）	string
lat	指定された緯度(世界測地系)	double
lon	指定された経度(世界測地系)	double
data	予測開始日時から 72 時間分の予測データが格納されている	array

data 配列

フィールド	内容	データタイプ
date	予報日時（YYYY/MM/DD hh:mm:ss）	string
value	指数コード	string

※　データが欠測の場合は、「999」が入る。

■ 指数コード一覧

番号	目安
0	部屋干し推奨
1	乾くのに時間がかかる
2	まあまあ乾く
3	乾く
4	良く乾く
5	洗濯日和

■　レスポンスデータ


```
{
   "date": "2020/02/07 12:00:00",
   "lat": 26.219,
   "lon": 127.679,
   "data": [
      {
         "date": "2020/02/07 12:00:00",
         "value": "4"
      }…
]
}
```

2.14.2 不快指数

(1) 仕様

フランクリン・ジャパンオリジナルの不快指数情報を JSON 形式で提供する。

(2) データリクエスト

■ 通信プロトコル

HTTPS

■ HTTP リクエストメソッド

GET

■ レスポンスデータフォーマット

JSON、JSONP

■ リクエスト URL

JSON リクエスト

https://weather-api.jldn.jp/weather/api/shisu/fukai/

JSONP リクエスト

https://weather-api.jldn.jp/weather/api/shisu/fukai/?accept=jsonp&auth=認証キー

■　リクエストパラメータ

パラメータ	内容	記述	省略
lat	中心緯度(世界測地系)	lat=35.24	予報区コードを指定した場合、省略可
lon	中心経度(世界測地系)	lon=139.24	予報区コードを指定した場合、省略可
accept	JSONP で取得する場合のレスポンスデータのフォーマット指定	accept=jsonp	JSONP で取得したい場合は、省略不可
auth	JSONP で取得する場合の認証キー	auth=認証キー	JSONP で取得したい場合は、省略不可
callback	JSONP コールバック関数名	callback=callback	可(省略した場合は、関数名が callback になる)

■ レスポンスデータ

ルートオブジェクト

フィールド	内容	データタイプ
date	予報発表日時（YYYY/MM/DD hh:mm:ss）	string
lat	指定された緯度(世界測地系)	double
lon	指定された経度(世界測地系)	double
data	予測開始日時から 72 時間分の予測データが格納されている	array

data 配列

フィールド	内容	データタイプ
date	予報日時（YYYY/MM/DD hh:mm:ss）	string
value	不快指数値	string

※　データが欠測の場合は、「999」が入る。

■ 不快指数値凡例

番号	目安
～54	寒い
55～59	肌寒い
60～74	快適
75～79	やや暑い
80～84	かなり暑い
85～	暑苦しい

■　レスポンスデータ


```
{
   "date": "2020/02/07 12:00:00",
   "lat": 26.219,
   "lon": 127.679,
   "data": [
      {
         "date": "2020/02/07 12:00:00",
         "value": "71"
      }…
]
}
```

2.14.3 紫外線指数

(1) 仕様

フランクリン・ジャパンオリジナルの紫外線指数情報を JSON 形式で提供する。

(2) データリクエスト

■ 通信プロトコル

HTTPS

■ HTTP リクエストメソッド

GET

■ レスポンスデータフォーマット

JSON、JSONP

■ リクエスト URL

JSON リクエスト

https://weather-api.jldn.jp/weather/api/shisu/uvi/

JSONP リクエスト

https://weather-api.jldn.jp/weather/api/shisu/uvi/?accept=jsonp&auth=認証キー

■　リクエストパラメータ

パラメータ	内容	記述	省略
lat	中心緯度(世界測地系)	lat=35.24	予報区コードを指定した場合、省略可
lon	中心経度(世界測地系)	lon=139.24	予報区コードを指定した場合、省略可
accept	JSONP で取得する場合のレスポンスデータのフォーマット指定	accept=jsonp	JSONP で取得したい場合は、省略不可
auth	JSONP で取得する場合の認証キー	auth=認証キー	JSONP で取得したい場合は、省略不可
callback	JSONP コールバック関数名	callback=callback	可(省略した場合は、関数名が callback になる)

■ レスポンスデータ

ルートオブジェクト

フィールド	内容	データタイプ
date	予報発表日時（YYYY/MM/DD hh:mm:ss）	string
lat	指定された緯度(世界測地系)	double
lon	指定された経度(世界測地系)	double
data	当日 6~18 時、翌日 6～18 時分の予測データが格納されている	array

data 配列

フィールド	内容	データタイプ
date	予報日時（YYYY/MM/DD hh:mm:ss）	string
value	指数コード	string

※　データが欠測の場合は、「999」が入る。

■ 紫外線指数値凡例

番号	目安強度
1	弱い
2	ふつう
3	強い
4	非常に強い
5	猛烈に強い

■　レスポンスデータ


```
{
   "date": "2020/02/07 06:00:00",
   "lat": 26.219,
   "lon": 127.679,
   "data": [
      {
         "date": "2020/02/07 06:00:00",
         "value": "1"
      }…
]
}
```

3　エラー時の対応

■　エラー時の挙動について

エラー時は HTTP のステータスコード 400、500 番台で応答する。

■　エラー時レスポンスデータ

ルートオブジェクト

フィールド	内容
code	エラーコード
message	エラーメッセージ

■　エラーコード一覧

エラーコード	HTTP ステータスコード	内容
MSG40000	400	不正なリクエストパラメータです。
MSG40100	401	認証に失敗しました。
MSG40300	403	許可されていないリソースへアクセスしています
MSG40301	403	契約期間外です。
MSG40400	404	リソースが見つかりませんでした。
MSG40401	404	データが見つかりませんでした。
MSG50000	500	サーバー内でエラーが発生しました。

■　エラーレスポンスデータ

```
{
   “code”:”MSG40100”
   "message": "認証に失敗しました",
}
```